

## 【豪ドル】 リスクオン環境だと押し目買い優勢、中国指標に要注意

|       | 直近1週間のレンジ    | 今後1週間の予想レンジ | 今後3ヶ月の予想レンジ   |
|-------|--------------|-------------|---------------|
| 豪ドル/円 | 98.03-99.04円 | 97.00-99.50 | 95.00-102.00円 |

豪ドル/円相場は、1豪ドル=99.04円まで値上がりして2014年12月以来の高値を更新した。しかし、その後は利食い売りが上値を抑え、98円水準まで軟化している。リスクオン環境で高金利通貨や資源国通貨が物色されやすい環境になる中、豪ドルも対円では物色された。4.35%の高金利環境にあるが、当面の利下げが想定されていないこともあり、投資家の物色意欲が強まった。中国経済の減速懸念が上値を圧迫する場面も見られたが、約9年ぶりの高値を更新しており、上昇トレンドが追認されている。ビクトリア州では森林火災が相次いでいるが、豪ドル相場に対する影響は限定されている。ただし、今週は株高一服感もあり、利食い売りが優勢になった。1月消費者物価指数は前年比3.4%上昇と前月から変わらなかった。市場予想3.6%を下回り、市場の追加利上げ観測が後退したことも、調整売りを誘った。

2月の急伸地合の反動で値動きは鈍化するが、下値の堅さは維持されよう。リスクオンの投資環境が修正を迫られないのであれば、引き続き日豪の金利差が豪ドル/円相場を下支えしよう。日本銀行のマイナス金利解除の時期が近づいているとみられるが、豪ドルに対する投資ニーズを大きく損なうことはないだろう。3月1日の中国製造業PMIに注意が必要だが、3月5日には中国全国人民代表大会（全人代）が開幕し、景気対策への期待感も根強いことを考慮すれば、97円台中盤より安値では押し目買いが入りやすい。2月29日の1月小売売上高が強めの数値と予想されていることもポジティブ。改めて99円台乗せを打診しよう。

サイコロジカルは、前週の11勝1敗から8勝4敗に。14日RSIは55.39。

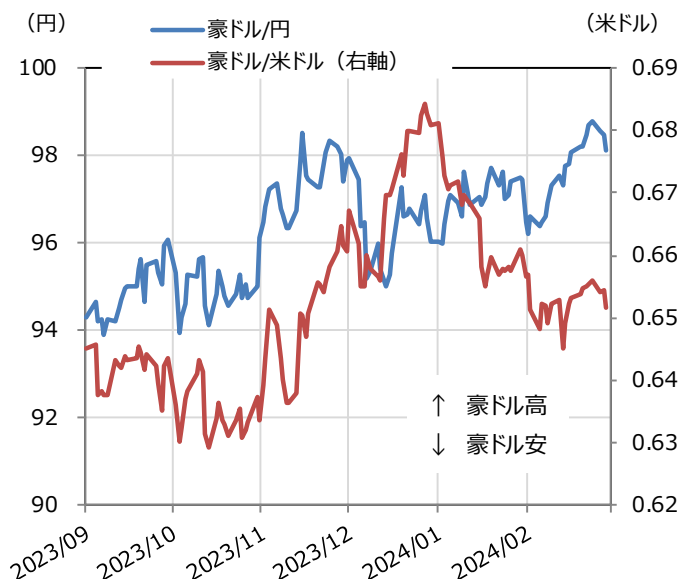
## 注目イベント

## 【オーストラリア】

- 02/28 (水) 1月消費者物価指数
- 02/29 (木) 1月小売売上高
- 02/29 (木) 10~12月期四半期民間設備投資
- 03/04 (月) 1月住宅建設許可件数
- 03/06 (水) 10~12月期GDP

## 【日本】

- 02/28 (水) 12月景気動向指数
- 02/29 (木) 1月鉱工業生産
- 03/01 (金) 1月失業率
- 03/01 (金) 2月消費者態度指数
- 03/04 (月) 10~12月期四半期法人企業統計調査



## 政策金利一覧

| (%)     | 日本    | 米国   | ユーロ圏 | 豪州   |
|---------|-------|------|------|------|
|         |       |      |      |      |
| 2022/01 | -0.10 | 0.25 | 0.00 | 0.10 |
| 2022/02 | -0.10 | 0.25 | 0.00 | 0.10 |
| 2022/03 | -0.10 | 0.50 | 0.00 | 0.10 |
| 2022/04 | -0.10 | 0.50 | 0.00 | 0.10 |
| 2022/05 | -0.10 | 1.00 | 0.00 | 0.35 |
| 2022/06 | -0.10 | 1.75 | 0.00 | 0.85 |
| 2022/07 | -0.10 | 2.50 | 0.50 | 1.35 |
| 2022/08 | -0.10 | 2.50 | 0.50 | 1.85 |
| 2022/09 | -0.10 | 3.25 | 1.25 | 2.35 |
| 2022/10 | -0.10 | 3.25 | 1.25 | 2.60 |
| 2022/11 | -0.10 | 4.00 | 2.00 | 2.85 |
| 2022/12 | -0.10 | 4.50 | 2.50 | 3.10 |
| 2023/01 | -0.10 | 4.50 | 3.00 | 3.10 |
| 2023/02 | -0.10 | 4.75 | 3.00 | 3.35 |
| 2023/03 | -0.10 | 5.00 | 3.50 | 3.60 |
| 2023/04 | -0.10 | 5.00 | 3.50 | 3.60 |
| 2023/05 | -0.10 | 5.25 | 3.75 | 3.85 |
| 2023/06 | -0.10 | 5.25 | 4.00 | 4.10 |
| 2023/07 | -0.10 | 5.50 | 4.25 | 4.10 |
| 2023/08 | -0.10 | 5.50 | 4.25 | 4.10 |
| 2023/09 | -0.10 | 5.50 | 4.50 | 4.10 |
| 2023/10 | -0.10 | 5.50 | 4.50 | 4.10 |
| 2023/11 | -0.10 | 5.50 | 4.50 | 4.35 |
| 2023/12 | -0.10 | 5.50 | 4.50 | 4.35 |
| 2024/01 | -0.10 | 5.50 | 4.50 | 4.35 |
| 2024/02 |       |      |      | 4.35 |
| 2024/03 |       |      |      |      |
| 2024/04 |       |      |      |      |
| 2024/05 |       |      |      |      |
| 2024/06 |       |      |      |      |
| 2024/07 |       |      |      |      |
| 2024/08 |       |      |      |      |
| 2024/09 |       |      |      |      |
| 2024/10 |       |      |      |      |
| 2024/11 |       |      |      |      |
| 2024/12 |       |      |      |      |

## 注意事項

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。

本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。

本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。

本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

## 発行会社

- 【会社名】 マーケットエッジ株式会社 (Marketedge Co., Ltd.)  
【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1 (古川ビル4F)  
【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>  
【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 【執筆者プロフィール】

マーケットエッジ株式会社 代表取締役/商品アナリスト 小菅 努 (こすげ・つとむ)  
1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物取引会社の営業本部を経て、同時テロ事件直後のニューヨーク事務所にてコモディティ・金融市場の分析を学ぶ。帰国後は調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社代表に就任。金、プラチナ、原油、天然ガス、天然ゴム、コーン、小麦、大豆、コーヒー、ココア、砂糖、綿花などのコモディティ市場を中心に、金融市場もカバー。主に法人向けのコモディティレポート配信、寄稿、講演等を行う。

E-mail: [kosuge.tsutomu@outlook.com](mailto:kosuge.tsutomu@outlook.com)

Twitter @[kosuge\\_tsutomu](https://twitter.com/kosuge_tsutomu)